

1. 開催日時：2020年3月9日（月）15：00～16：00
2. 開催場所：連合事務局会議室（〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル）
3. 出席委員：会長 川幡 穂高 （東京大学）
学協会長会議議長 榎並 正樹 （名古屋大学）
次期セクションプレジデント
宇宙惑星科学 倉本 圭 （北海道大学）
地球人間圏科学 鈴木 康弘 （名古屋大学）
固体地球科学 田中 聡 （海洋研究開発機構）
(敬称略)

4. 議事

開始予定時刻となったため、議長が議長席に着き、会議の開始を宣言した。以下議事に入った。

議事1. 関連規則の確認

定款、役員候補者推薦委員会規則、理事候補者選挙規則および理事候補者実施細則等、関連規則を確認した。

役員候補者推薦委員会規則第4条2では、「推薦委員会の決議には、全委員が出席し、その過半数の賛成を持って行う。」とある。谷口委員と遠藤委員は当日の会議にやむにやまれぬ事情のため急遽出席できなかったため、後日メールにて審議内容を伝え、あらためてメール会議にて全員の承認を得ることとした。

議事2. 理事候補の選出

管理委員会より提出された理事候補者選挙の選挙結果を元に、理事候補者を選出した。候補者は全て問題がないことを確認した。

基本的には得票数の上位から20名までを推薦する。ただし、投票後に退会届を提出した候補者があり、慰留中であるとの報告があった。事実関係を確認し、事実であれば次点の候補者を繰り上げて20名とすることとした。

また同様に、他にももし辞退等があった場合は次々点の候補者を繰り上げるということとした。

いずれの場合も、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第五条十一および定款第16条に定められた、他の同一の団体の理事又は使用人である者について検討し、問題ないことを確認した。

議事3. 監事候補の選出

継続性を考え、現職の鈴木善和監事、加藤照之監事には引き続き依頼する。

新任の方を迎えた方が良いという意見があり、過去の役員経験者、セクションプレジデント経験者等から学識・経験を踏まえ春山成子氏に打診することとした。但しもし固辞された場合は氷見山幸夫監事に継続していただくこととした。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(16時00分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成した。

以上

参考：

理事候補者選挙実施細則

(順位の決定)

第6条 選挙の結果、得票の多い者から順位を付け、得票同数の場合は、年齢の若い者を上位とする。

公益社団法人日本地球惑星科学連合定款

(役員を選任) 第16条

2 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者(公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令第5条各号に掲げられた者をいう。)である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

(公益認定の基準)

第五条十一 他の同一の団体(公益法人又はこれに準ずるものとして政令で定めるものを除く。)の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして政令で定める者である理事の合計数が理事の総数の三分の一を超えないものであること。監事についても、同様とする。

1. 開催日時：2020年3月13日（金）～3月19日（木）
2. 開催方法：メール会議
3. 出席委員：会長 川幡 穂高 （東京大学）
学協会長会議議長 榎並 正樹 （名古屋大学）
次期セクションプレジデント
宇宙惑星科学 倉本 圭 （北海道大学）
大気水圏科学 谷口 真人 （総合地球環境学研究所）
地球人間圏科学 鈴木 康弘 （名古屋大学）
固体地球科学 田中 聡 （海洋研究開発機構）
地球生命科学 遠藤 一佳 （東京大学）
(敬称略)

4. 議事

議長よりメール会議の開始と議事内容を伝えるメールが役員候補者推薦委員会メーリングリストに送信された。

議事1. 理事候補の選出

前回会議での報告のあった得票上位者の辞退が確認されたため、得票 21 位の候補者を繰り上げて 20 名とする推薦リストが提示された。全員から了承の返答がメールにて事務局に送信されたため、全会一致で可決した。

議事2. 監事候補の選出

春山成子氏の快諾を得たため、現職の鈴木善和監事、加藤照之監事とあわせて 3 名のリストを提示した。全員から了承の返答がメールにて事務局に送信されたため、全会一致で可決した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成した。

以上